

志摩市立鵜方小学校 3年 須場 涼介「未来につなぐ三重の海」

きらきらひかるいせしまの海には、おいしい魚がたくさんいてりょうしさんの船もはしっています。前に家族で横山てんぼう台に行った時に、いせしまの海はリアス式海岸だということを知りました。この海では、あわびやさざえ、イセエビがとれてしんじゅやあおさのようしょくもさかんです。あおさは、ぼくのおじいちゃんもようしょくしているのです。冬になるとお手つだいをします。あおさの出荷りょうは、三重県が日本一だそうです。海ではほかにも楽しいことがたくさんできます。ぼくはこうのはまでサーフィンをしてけんしたり、はま島の大矢はまで毎年アクアスロンにチャレンジしています。

でもしまの海は昔とちがうそうです。いそやけで、あまさんがとるさざえやあわびはとも少なくなってしまったと聞きました。アイゴという魚もげんいんの一つです。給食でアイゴのさつまあげが出た時に勉強しました。地球温暖化やゴミ問題で自ぜんかんきょうがわるくなっています。電気のむだづかいをしない。ゴミのポイすてをしないなど自ぜんを守るためにぼくもがんばりたいと思います。

未来の三重県は、魚や貝がたくさんいるゆたかな海が自まんの県でありつづけてほしいです。ぼくは、きらきらひかるたから物のようなこの海が大すきです。百年後、二百年後の子どもたちにも三重の海を守ってほしいです。